

# 2025年3月期 決算補足資料

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1. 決算概観（連結）                | P.2     |
| 2. 業績（連結）のポイント             | P.3     |
| 3. 業績（連結）の状況               | P.4     |
| 4. 主要製品の状況                 | P.5     |
| 5. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結） | P.6     |
| 6. 開発品一覧                   | P.7～9   |
| 7. 2026年3月期 連結業績予想         | P.10    |
| <b>【参考資料】</b>              |         |
| 8. 損益計算書の概要（連結）            | P.12～13 |
| 9. 貸借対照表の概要（連結）            | P.14    |
| 10. 主な業績項目の推移（連結）          | P.15    |
| 11. 杏林製薬資料                 | P.16～19 |

2025年5月12日  
杏林製薬株式会社



## ■ 将来の見通しに関する注意事項

本資料には、当社グループに関する業績見通しや目標・計画等、将来に関する事項が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において入手可能な情報や予測に基づく、当社グループの仮定や見通し等の判断によるものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しております。したがって、その後発生した種々の要因により、実際の業績や開発品の進捗・成否、その他の見通し等が記述内容と大きく異なる可能性があります。また医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その記述は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

# 2025年3月期 決算概観（連結）



（単位：百万円）	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	対前期 （%）	26年3月期 （予想）	対前期 （%）
売上高	105,534	113,270	119,532	<b>130,087</b>	+8.8	<b>127,000</b>	-2.4
営業利益	5,007	5,123	6,234	<b>12,567</b>	+101.6	<b>6,100</b>	-51.5
経常利益	5,569	5,827	6,822	<b>13,219</b>	+93.8	<b>6,300</b>	-52.3
親会社株主に帰属する当期純利益	3,932	4,723	5,475	<b>9,086</b>	+66.0	<b>4,800</b>	-47.2
1株当たり当期純利益（円）	68.62円	82.44円	95.41円	<b>158.17円</b>	+65.8	<b>83.55円</b>	-47.2
総資産	171,924	176,045	177,627	<b>193,618</b>	+9.0	—	—
純資産	124,507	125,461	130,735	<b>136,285</b>	+4.2	—	—

## 25年3月期 連結業績（実績）

【売上高】 薬価改定の影響はあったものの、積極的な新薬の普及最大化に努め、主力製品「ベオーバ」、「ラスビック」等が伸長したことにより、新医薬品等（国内）の売り上げは前期を上回る実績で推移しました。また自社創製化合物の導出に伴う契約一時金収入を計上したことにより、新医薬品（海外）は前期を大幅に上回りました。後発医薬品の売り上げも増加し、全体の売上高は1,300億87百万円と前期比105億54百万円の増収となりました。

【利益】 売上拡大等により、売上総利益は595億35百万円と前期に対して79億7百万円増加しました。他方、販売費及び一般管理費は導入品獲得に伴う研究開発費等の増加により、前期に対して15億73百万円増加（うち、研究開発費は24億95百万円増加）し、その結果、営業利益は125億67百万円と前期比63億33百万円の増益となりました。経常利益は132億19百万円と前期比63億97百万円増加し、親会社株主に帰属する当期純利益は、90億86百万円と前期比36億11百万円の増益となりました。

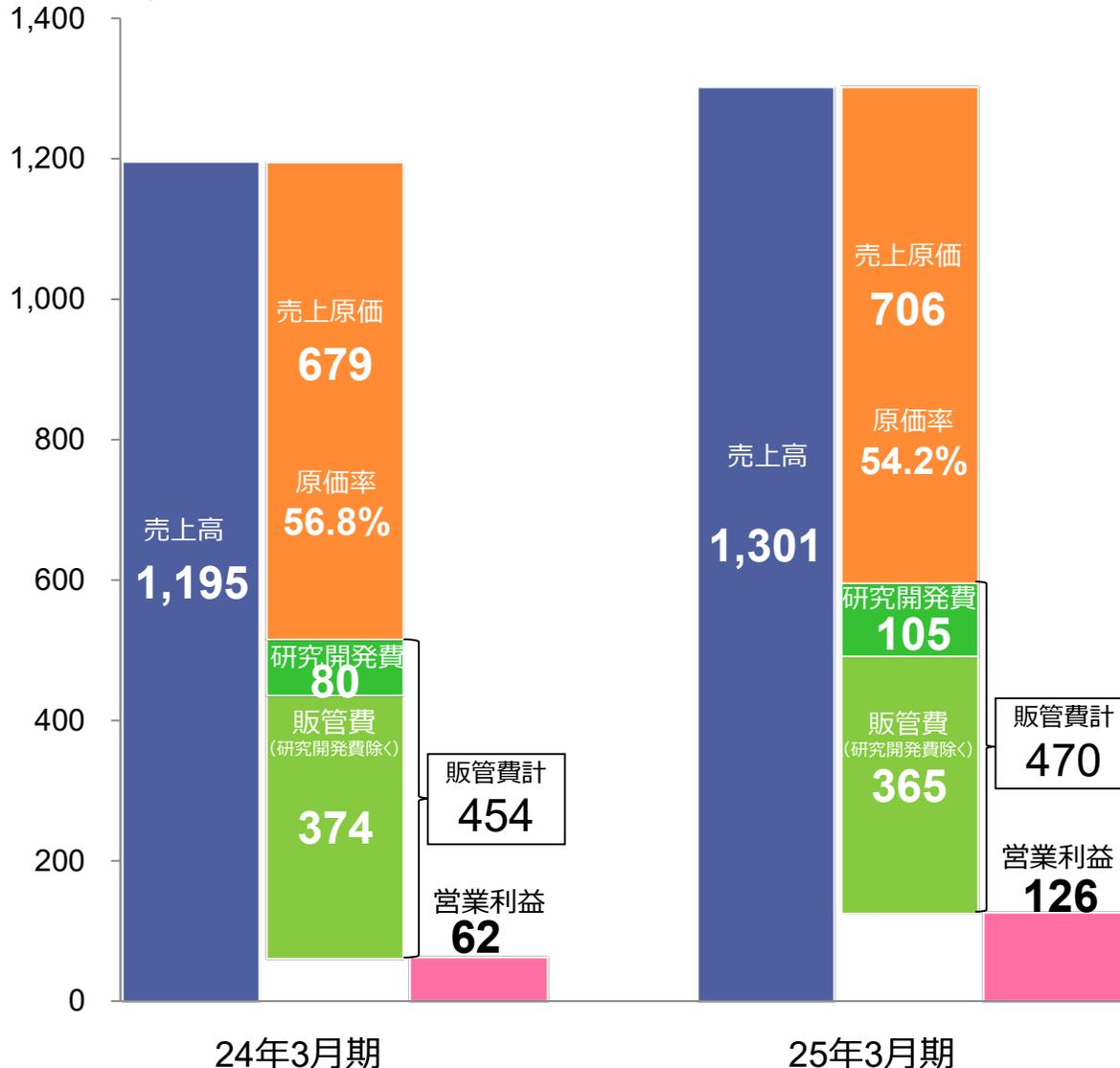
## 26年3月期 連結業績（予想）

売上高は、薬価改定の影響はあるものの、主力製品「ベオーバ」、「ラスビック」等の伸長により、新医薬品等（国内）の売上増加を予想します。一方、新医薬品（海外）は、前年度に計上した自社創製化合物の導出に伴う契約一時金収入の反動減により売上減少を見込むことから、全体の売上高は減収を見込みます。利益面では、減収及び原価率の上昇により売上総利益の減少を見込み、販売費及び一般管理費（研究開発費含む）は横ばいを予想することから、営業利益は減益を見込みます。

これらの結果、売上高は1,270億円（前期比2.4%減）、営業利益は61億円（前期比51.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は48億円（前期比47.2%減）を見込みます。

# 2025年3月期 業績（連結）のポイント

(単位：億円)



## 売上高は増加 (+106億円)

- **新医薬品等（国内）の売上増加**
  - ・新薬（ベオーバ、ラスビック、フルティフォーム等）の伸長
  - ・長期収載品の売上減少
- **新医薬品（海外）の売上増加**
  - ・導出に伴う契約一時金収入

## 売上原価率は 2.6ポイント低下

【低下要因】

- 新薬（ベオーバ、ラスビック等）の売上増加
- ・新薬比率の上昇
- 導出に伴う契約一時金収入

【上昇要因】

- 薬価改定（杏林製薬7%台）
- 為替変動

## 売上総利益は増加 (+79億円)

### 販管費は 16億円増加

- **研究開発費は 25億円増加**
  - ・導入に伴う契約一時金支出
- **販管費（研究開発費除く）は 9億円減少**
  - ・減価償却費、人件費等の減少
  - ・一般経費の増加（特許等使用料等）

## 営業利益は増加 (+64億円)

※ 2025年3月期より会計方針の変更を行っており、2024年3月期に係る数値については遡及修正後の数値を記載しております。

# 2025年3月期 業績（連結）の状況



(単位：億円)	24年3月期	25年3月期	対前期 (額)
売上高	1,195	1,301	+106
新医薬品等(国内)	826	842	+16
新医薬品(海外)	4	89	+85
後発医薬品	366	371	+5
営業利益	62	126	+64
経常利益	68	132	+64
親会社株主に帰属する 当期純利益	55	91	+36

	(対前期)	(対予想) 2024年5月10日発表
■ 売上高	1,301億円 (+106)	(+67)
● 新医薬品等 (国内)	842億円 (+16)	(-5)
	24.3	25.3
・ベオーバ	181 ⇒ 221 (+40)	(+1)
・ラスビック	49 ⇒ 78 (+29)	(+14)
・リフヌア	8 ⇒ 9 (+1)	(-6)
・デザレックス	89 ⇒ 96 (+7)	(0)
・フルティフォーム	129 ⇒ 137 (+8)	(+12)
・ペンタサ	123 ⇒ 122 (-1)	(+6)
・キプレス	70 ⇒ 35 (-35)	(-18)
・ムコダイン	42 ⇒ 36 (-6)	(-7)
● 新医薬品 (海外)	89億円 (+85)	(+85)
導出に伴う契約一時金収入 (KRP-M223) ガチフロキサシンに関わる一時的な収入		
● 後発医薬品	371億円 (+5)	(-11)
オーソライズド・ジェネリック等の売上減少 24年度追補収載品等の売上寄与		
■ 営業利益	126億円 (+64)	(+61)
● 原価率：54.2% (前期：56.8%)		
【低下要因】新薬（ベオーバ、ラスビック等）の売上増加、新薬比率の上昇 導出に伴う契約一時金収入 (KRP-M223)		
【上昇要因】薬価改定、為替変動		
● 研究開発費：105億円 (前期：80億円)		
導入に伴う契約一時金支出 (KRP-S124)		
● 販管費 (研究開発費除く)：365億円 (前期：374億円)		
減価償却費、人件費等の減少 一般経費の増加 (特許等使用料等)		
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	91億円 (+36)	(+41)

前期 特別利益：14億4百万円 投資有価証券売却益9億93百万円等  
 前期 特別損失：9億87百万円 希望退職プログラムに関わる費用8億69百万円等  
 当期 特別損失：5億51百万円 投資有価証券評価損3億4百万円等

※ 2025年3月期より会計方針の変更を行っており、2024年3月期に係る数値については遡及修正後の数値を記載しております。

# 2025年3月期 主要製品の状況

(単位：億円)		21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	対前期 (額)	対前期 (%)	26年3月期 (予想)
新医薬品等 (国内)	ベオーバ (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	73	86	129	181	221	+40	+21.9	251
	ラスビック (ニューキノロン系抗菌剤)	9	18	25	49	78	+29	+58.7	85
	リフヌア (選択的P2X3受容体拮抗薬/咳嗽治療薬)	—	—	2	8	9	+1	+10.6	11
	デザレックス (アレルギー性疾患治療薬)	57	71	85	89	96	+7	+8.6	101
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	133	126	120	129	137	+8	+6.8	132
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	128	140	128	123	122	-1	-0.8	116
	キプレス (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	83	84	66	70	35	-35	-49.8	21
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	33	35	35	42	36	-6	-15.6	52
	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	21	21	20	19	18	-1	-1.7	18
	ルビスタ (環境除菌・洗浄剤)	20	21	21	15	11	-4	-27.5	10
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	108	122	133	123	120	-3	-2.6	113
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	38	36	47	45	41	-4	-9.3	43

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

(単位：百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	対前期 (%)	26年3月期 (予想)
研究開発費	9,703	8,897	10,903	8,019	<b>10,514</b>	+31.1	<b>10,400</b>
設備投資	4,307	3,624	5,252	6,587	<b>6,153</b>	-6.6	<b>4,700</b>
減価償却費	3,564	3,714	3,840	4,290	<b>4,603</b>	+7.3	<b>4,700</b>

## 設備投資の詳細（実績／予想）

(単位：億円)	24年3月期	25年3月期	26年3月期 (予想)
工場設備	55	<b>46</b>	<b>40</b>
管理・販売設備	5	<b>9</b>	<b>2</b>
研究用設備	5	<b>6</b>	<b>5</b>

# 開発品一覧① (2025年5月12日現在)

## Ph3 ~ 発売

開発段階		製品名/ 開発コード	予定適応症/ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph3 自社 (22年9月)	Ph3 エイタイヤー社 (アメリカ)	<b>KRP-R120</b>	間質性肺疾患 (肺サルコイドーシス)	エイタイヤー社	融合タンパク製剤であり、Neuropilin-2受容体 (NRP2) に結合することで過剰な免疫細胞の活性化を抑制する作用を有し、ファースト・イン・クラスの治療薬として肺サルコイドーシス等の炎症疾患への効果が期待される	

## POCプロジェクト (Ph1 ~ Ph2)

開発段階		開発コード	予定適応症/ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph1 自社 (22年8月)	—	<b>KRP-114VP</b>	過活動膀胱	メルク社	膀胱平滑筋に存在するβ3アドレナリン受容体を選択的に刺激し、膀胱を弛緩させることで蓄尿機能を亢進し、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する	「ヘオーバ」の小児への適応拡大
—	Ph1 自社 (21年4月：イギリス)	<b>KRP-A218</b>	重症化リスクを有する ライノウイルス感染症	自社	宿主分子を標的とし、体内におけるウイルス増殖を抑制する抗ウイルス薬	

# 開発品一覧② (2025年5月12日現在)

## 導入品の状況

※前回 (2025年2月5日) からの更新

開発段階		開発コード	予定適応症/ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph2 あすか製薬(株)	—	<b>AKP-009</b>	前立腺肥大症	あすか製薬(株)	新規アンドロゲン受容体モジュレーター作用を有し、前立腺縮小作用に加えて排尿機能改善作用を併せ持つ、新しい前立腺肥大症治療薬として期待される	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国内における共同開発及び販売等に関する契約を締結 (20年9月)</li> <li>高用量の追加Ph1試験終了(あすか製薬)</li> <li>Ph2試験実施中 (あすか製薬) ※</li> </ul>
—	Ph1終了 バイエル社 (ドイツ)	<b>KRP-S124 (BAY2925976)</b>	閉塞性睡眠時 無呼吸等	バイエル社	ADRA2C拮抗作用を有し、中枢性に上気道虚脱を軽減し、閉塞性睡眠時無呼吸に見られる一時的な無呼吸・低呼吸を改善することが期待される	<ul style="list-style-type: none"> <li>BAY2925976及びそのバックアップ化合物について、全世界を対象とした独占的製造、開発、販売権に関するライセンス契約を締結 (24年12月)</li> </ul>

## 導出品の状況

開発段階	製品名/ 開発コード	導出先	予定適応症/ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
Ph3 プリオセラ社	<b>KRP-203</b>	プリオセラ社 (アイルランド)	—	自社	S1P受容体アゴニスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>本剤の開発・販売等に要する特許・データ等の知的財産及び原薬等を譲渡 (20年9月)</li> </ul>
前臨床	<b>KRP-M223</b> ※	バルティス社 (スイス)	マスト細胞が関与する慢性特発性蕁麻疹などのアレルギー性疾患や炎症性疾患	自社	MRGPRX2 拮抗薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>KRP-M223及びそのバックアップ化合物について、全世界を対象とした独占的な開発、製造、及び商業化に関するライセンス契約を締結 (25年3月)</li> <li>当社は日本における商業化及び日本向けの製造に関するオプションを保有</li> </ul>

# その他：（2025年5月12日現在）

## DTxの状況

※前回（2025年2月5日）からの更新

契約先	開発コード	予定適応症／対象疾患	備考
サスメド(株)	KRP-DT123	耳鳴	耳鼻科領域における治療用アプリの共同研究開発及び販売に関する契約を締結（22年11月） 特定臨床研究開始（23年9月）
ハイフ社 (アメリカ)	KRP-DC125※	慢性咳嗽	慢性咳嗽治療用アプリに関する「開発・商業化契約」を締結

## オプション契約

開発段階		開発コード	予定適応症／対象疾患	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
—	Ph1実施中 ビオドール社 (フランス)	BDT272	慢性疼痛等	ビオドール社	神経障害性疼痛などの慢性疼痛の発症と持続に深く関与するFLT3（受容体型チロシンキナーゼファミリー）を阻害することで、効果的な鎮痛作用を発揮することが期待される	・日本及びアジア地域（中国を除く）における開発・販売権のライセンスに係るオプション契約を締結（25年1月）
—	Ph2実施中 シラーノ社 (アメリカ)	CYR-064 ※	感冒後嗅覚障害	シラーノ社	テオフィリン含有点鼻製剤であり、非特異的ホスホジエステラーゼ阻害作用によりcAMPの分解を抑制し、細胞内濃度を上昇させて神経の興奮性を高める	・日本における開発・販売権のライセンスに係るオプション契約を締結（25年2月）

# 2026年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)	25年3月期 (実績)	26年3月期 (予想)	対前期 (額)	対前期 (%)
<b>売上高</b>	130,087	<b>127,000</b>	-3,087	-2.4
新医薬品等（国内）	84,158	<b>89,000</b>	+4,842	+5.8
新医薬品（海外）	8,860	<b>200</b>	-8,660	-97.7
後発医薬品	37,068	<b>37,700</b>	+632	+1.7
<b>営業利益</b>	12,567	<b>6,100</b>	-6,467	-51.5
<b>経常利益</b>	13,219	<b>6,300</b>	-6,919	-52.3
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	9,086	<b>4,800</b>	-4,286	-47.2

## 【参考資料】

# 損益計算書の概要 (連結) - ①

(単位：百万円)	24年3月期		25年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
売上高	119,532	100.0%	130,087	100.0%	+8.8	+10,554
新医薬品等 (国内)	82,581	69.1%	84,158	64.7%	+1.9	+1,576
新医薬品 (海外)	386	0.3%	8,860	6.8%	+2,195.2	+8,474
後発医薬品	36,564	30.6%	37,068	28.5%	+1.4	+503

<連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社2社： キョーリンリメディオ(株)  
キョーリン製薬グループ工場(株)  
持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

## <当期のポイント>

(対前期)

■ 売上高	130,087百万円	(+10,554)
● 新医薬品等 (国内)	84,158百万円	(+1,576)
(億円)	24.3	25.3
・ベオーバ	181 ⇒ 221	(+40)
・ラスビック	49 ⇒ 78	(+29)
・リフヌア	8 ⇒ 9	(+1)
・デザレックス	89 ⇒ 96	(+7)
・フルティフォーム	129 ⇒ 137	(+8)
・ペンタサ	123 ⇒ 122	(-1)
・キプレス	70 ⇒ 35	(-35)
・ムコダイン	42 ⇒ 36	(-6)
● 新医薬品 (海外)	8,860百万円	(+8,474)
・導出に伴う契約一時金収入 (KRP-M223)		
・ガチフロキサシンに関わる一時的な収入		
● 後発医薬品	37,068百万円	(+503)
・オーソライズド・ジェネリック等の売上減少		
・24年度追補収載品等の売上寄与		

# 損益計算書の概要 (連結) - ②

(単位：百万円)	24年3月期		25年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
<b>売上高</b>	119,532	100.0%	<b>130,087</b>	100.0%	+8.8	+10,554
<b>売上原価</b>	67,904	56.8%	<b>70,551</b>	54.2%	+3.9	+2,647
<b>売上総利益</b>	51,628	43.2%	<b>59,535</b>	45.8%	+15.3	+7,907
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	45,394 (8,019)	38.0% (6.7%)	<b>46,967</b> <b>(10,514)</b>	36.1% (8.1%)	+3.5 (+31.1)	+1,573 +2,495
<b>営業利益</b>	6,234	5.2%	<b>12,567</b>	9.7%	+101.6	+6,333
営業外収益	735	0.6%	<b>870</b>	0.7%	+18.3	+134
営業外費用	146	0.1%	<b>218</b>	0.2%	+48.7	+71
<b>経常利益</b>	6,822	5.7%	<b>13,219</b>	10.2%	+93.8	+6,397
特別利益	1,404	1.2%	<b>103</b>	0.1%	-92.7	-1,301
特別損失	987	0.8%	<b>551</b>	0.4%	-44.1	-435
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	7,239	6.1%	<b>12,770</b>	9.8%	+76.4	+5,531
法人税・住民税 及び事業税	1,897	1.6%	<b>3,807</b>	2.9%	+100.7	+1,910
法人税等調整額	-133	-0.1%	<b>-123</b>	-0.1%	—	+10
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	5,475	4.6%	<b>9,086</b>	7.0%	+66.0	+3,611

## <当期のポイント>

(対前期)

### ◆売上原価率：54.2% (-2.6ポイント)

【低下要因】

- ・新薬（ペオーバ、ラスビック等）の売上増加
- ・導出に伴う契約一時金収入（KRP-M223）

【上昇要因】

- ・薬価改定（杏林製薬7%台）
- ・為替変動

### ◆研究開発費比率：8.1% (+1.4ポイント)

- ・105億円（前期：80億円）
- 導入に関わる契約一時金支出（KRP-S124）

### ◆販管費比率（研究開発費除く）：28.0% (-3.3ポイント)

- ・365億円（前期：374億円）
- 減価償却費、人件費等の減少
- 一般経費の増加（特許等使用料等）

### ■営業利益 12,567百万円 (+6,333百万円)

### ■親会社株主に帰属する当期純利益 9,086百万円 (+3,611百万円)

【前期】

- ・特別利益：1,404百万円
- 投資有価証券売却益 993百万円
- ・特別損失：987百万円
- 希望退職プログラムに関わる費用 869百万円

【当期】

- ・特別損失：551百万円
- 投資有価証券評価損304百万円

### ■配当 57円00銭/株（内、特別配当5円/株） 配当性向36.5%

※ 2025年3月期より会計方針の変更を行っており、2024年3月期に係る数値については遡及修正後の数値を記載しております。

# 貸借対照表の概要（連結）

(単位：百万円)	24年3月期末		25年3月期末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	119,240	67.1%	<b>136,134</b>	70.3%	+ 16,894
現金及び預金	13,886		<b>15,021</b>		
受取手形、売掛金、及び契約資産	47,741		<b>47,583</b>		
有価証券	99	—	<b>1,493</b>	—	—
棚卸資産	53,401		<b>65,731</b>		
その他	4,110		<b>6,304</b>		
<b>固定資産</b>	58,386	32.9%	<b>57,483</b>	29.7%	- 903
有形固定資産	28,950		<b>30,303</b>		
無形固定資産	5,088	—	<b>4,757</b>	—	—
投資その他	24,348		<b>22,422</b>		
<b>資産合計</b>	177,627	100.0%	<b>193,618</b>	100.0%	+ 15,990
<b>流動負債</b>	45,491	25.6%	<b>35,111</b>	18.1%	- 10,380
支払手形及び買掛金	14,265		<b>15,517</b>		
その他流動負債	31,226	—	<b>19,594</b>	—	—
<b>固定負債</b>	1,400	0.8%	<b>22,221</b>	11.5%	+ 20,821
<b>負債合計</b>	46,892	26.4%	<b>57,333</b>	29.6%	+ 10,441
<b>株主資本</b>	124,829	70.3%	<b>130,892</b>	67.6%	+ 6,063
<b>その他の包括利益累計額</b>	5,905	3.3%	<b>5,392</b>	2.8%	- 513
その他有価証券評価差額金	5,926		<b>5,544</b>		
繰延ヘッジ損益	—	—	<b>13</b>	—	—
退職給付に係る調整累計額	- 20		<b>- 166</b>		
<b>純資産合計</b>	130,735	73.6%	<b>136,285</b>	70.4%	+ 5,549
<b>負債及び純資産合計</b>	177,627	100.0%	<b>193,618</b>	100.0%	+ 15,990

## <当期のポイント>

(対前期末)

### ■ 流動資産：16,894百万円増

- ・ 現金及び預金の増加 ( + 1,135百万円)
- ・ 受取手形、売掛金、及び契約資産の減少 ( - 158百万円)
- ・ 有価証券の増加 ( + 1,393百万円)
- ・ 棚卸資産の増加 ( + 12,330百万円)
- ・ その他の増加 ( + 2,193百万円)

### ■ 固定資産：903百万円減

- ・ 有形固定資産の増加 ( + 1,353百万円)
- ・ 無形固定資産の減少 ( - 330百万円)
- ・ 投資その他の減少 ( - 1,925百万円)

### ■ 流動負債：10,380百万円減

- ・ 支払手形及び買掛金の増加 ( + 1,252百万円)
- ・ その他流動負債の減少 ( - 11,632百万円)

### ■ 固定負債：20,821百万円増

# 主な業績項目の推移 (連結)

(単位：百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期 (予想)
売上高	102,904	105,534	113,270	119,532	130,087	127,000
(海外売上)	(996)	(1,033)	(308)	(386)	(8,860)	(200)
売上原価	51,276	56,093	63,102	67,904	70,551	—
(売上原価率)	(49.8%)	(53.2%)	(55.7%)	(56.8%)	(54.2%)	—
販売費及び一般管理費	45,841	44,433	45,043	45,394	46,967	—
(販管费率)	(44.5%)	(42.1%)	(39.8%)	(38.0%)	(36.1%)	—
うち研究開発費	9,703	8,897	10,903	8,019	10,514	10,400
(研究開発费率)	(9.4%)	(8.4%)	(9.6%)	(6.7%)	(8.1%)	(8.2%)
営業利益	5,786	5,007	5,123	6,234	12,567	6,100
(営業利益率)	(5.6%)	(4.7%)	(4.5%)	(5.2%)	(9.7%)	(4.8%)
経常利益	6,447	5,569	5,827	6,822	13,219	6,300
(経常利益率)	(6.3%)	(5.3%)	(5.1%)	(5.7%)	(10.2%)	(5.0%)
当期純利益	6,130	3,932	4,723	5,475	9,086	4,800
(当期純利益率)	(6.0%)	(3.7%)	(4.2%)	(4.6%)	(7.0%)	(3.8%)
一株当たり利益	106.99円	68.62円	82.44円	95.41円	158.17円	83.55円
資本金	700	700	700	700	700	—
総資産	167,126	171,924	176,045	177,627	193,618	—
株主資本	120,339	120,491	122,182	124,829	130,892	—
純資産	124,661	124,507	125,461	130,735	136,285	—
一株当たり純資産	2,175.52円	2,172.83円	2,189.40円	2,275.68円	2,372.29円	—
自己資本利益率	5.0%	3.2%	3.8%	4.3%	6.8%	—
自己資本比率	74.6%	72.4%	71.3%	73.6%	70.4%	—
人員	2,243人	2,222人	2,138人	2,042人	1,998人	—
設備投資	4,307	3,624	5,252	6,587	6,153	4,700
減価償却費	3,564	3,714	3,840	4,290	4,603	4,700

# 損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)	24年3月期		25年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
売上高	105,157	100.0%	115,918	100.0%	+10.2	+10,760
新医薬品等 (国内)	81,049	77.1%	82,537	71.2%	+1.8	+1,488
新医薬品 (海外)	386	0.4%	8,860	7.6%	+2,195.2	+8,474
後発医薬品	23,722	22.6%	24,520	21.2%	+3.4	+798

## <当期のポイント>

(対前期)

■売上高 **115,918百万円** (+10,760)

●新医薬品等 (国内) **82,537百万円** (+1,488)

(億円)	24.3		25.3	
・ペオーバ	181	⇒	221	(+40)
・ラスビック	49	⇒	78	(+29)
・リフヌア	8	⇒	9	(+1)
・デザレックス	89	⇒	96	(+7)
・フルティフォーム	129	⇒	137	(+8)
・ペンタサ	123	⇒	122	(-1)
・キプレス	70	⇒	35	(-35)
・ムコダイン	42	⇒	36	(-6)

●新医薬品 (海外) **8,860百万円** (+8,474)

- ・導出に伴う契約一時金収入 (KRP-M223)
- ・ガチフロキサシンに関わる一時的な収入

●後発医薬品 **24,520百万円** (+798)

# 損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)	24年3月期		25年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
<b>売上高</b>	105,157	100.0%	<b>115,918</b>	100.0%	+ 10.2	+ 10,760
<b>売上原価</b>	56,581	53.8%	<b>59,667</b>	51.5%	+ 5.5	+ 3,085
<b>売上総利益</b>	48,576	46.2%	<b>56,250</b>	48.5%	+ 15.8	+ 7,674
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	41,682 (7,088)	39.6% (6.7%)	<b>43,348</b> <b>(9,520)</b>	37.4% (8.2%)	+ 4.0 (+ 34.3)	+ 1,665 (+ 2,431)
<b>営業利益</b>	6,893	6.6%	<b>12,902</b>	11.1%	+ 87.2	+ 6,009
営業外収益	804	0.8%	<b>990</b>	0.9%	+ 23.1	+ 186
営業外費用	66	0.1%	<b>187</b>	0.2%	+ 183.3	+ 121
<b>経常利益</b>	7,632	7.3%	<b>13,706</b>	11.8%	+ 79.6	+ 6,073
特別利益	48,537	46.2%	<b>0</b>	0.0%	- 100.0	- 48,536
特別損失	938	0.9%	<b>486</b>	0.4%	- 48.1	- 451
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	55,231	52.5%	<b>13,219</b>	11.4%	- 76.1	- 42,011
法人税・住民税 及び事業税	2,046	1.9%	<b>4,167</b>	3.6%	+ 103.6	+ 2,120
法人税等調整額	40	0.0%	<b>- 329</b>	- 0.3%	-	- 369
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	53,144	50.5%	<b>9,382</b>	8.1%	- 82.3	- 43,762

## <当期のポイント>

(対前期)

### ◆ 売上原価率：51.5% (－2.3ポイント)

## 【低下要因】

- ・新薬（ベオーバ、ラスビック等）の売上増加
- ・導出に伴う契約一時金収入（KRP-M223）

## 【上昇要因】

- ・薬価改定（杏林製薬7%台）
- ・為替変動

### ◆ 研究開発費率：8.2% (+1.5ポイント)

- ・95億円（前期：71億円）
- 導入に伴う契約一時金支出（KRP-S124）

### ◆ 販管費率(研究開発費除く)：29.2% (－3.7ポイント)

- ・338億円（前期：346億円）
- 減価償却費、人件費等の減少
- 一般経費（特許等使用料等）の増加

### ■ 営業利益 12,902百万円 (+6,009百万円)

### ■ 当期純利益 9,382百万円 (－43,762百万円)

## 【前期】

- ・特別利益：48,537百万円
- 連結子会社吸収合併による抱合せ株式消滅差益 46,843百万円
- 投資有価証券売却益 969百万円
- ・特別損失：938百万円
- 希望退職プログラムに関わる費用869百万円

## 【当期】

- ・特別損失：486百万円
- 投資有価証券評価損304百万円

# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)	24年3月期末		25年3月期末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	115,089	70.4%	<b>134,004</b>	74.6%	+ 18,915
現金及び預金	9,950		<b>11,122</b>		
売掛金及び契約資産	42,451		<b>42,351</b>		
有価証券	99	—	<b>1,493</b>	—	—
棚卸資産	44,369		<b>54,240</b>		
その他	18,217		<b>24,796</b>		
<b>固定資産</b>	48,363	29.6%	<b>45,645</b>	25.4%	- 2,718
有形固定資産	6,741		<b>6,861</b>		
無形固定資産	4,920	—	<b>4,382</b>	—	—
投資その他	36,702		<b>34,401</b>		
<b>資産合計</b>	163,453	100.0%	<b>179,650</b>	100.0%	+ 16,196
<b>流動負債</b>	43,121	26.4%	<b>33,010</b>	18.4%	- 10,110
買掛金	14,245		<b>15,542</b>		
その他流動負債	28,875	—	<b>17,468</b>	—	—
<b>固定負債</b>	975	0.6%	<b>21,290</b>	11.9%	+ 20,315
<b>負債合計</b>	44,096	27.0%	<b>54,301</b>	30.2%	+ 10,205
<b>株主資本</b>	113,550	69.5%	<b>119,910</b>	66.7%	+ 6,359
<b>評価・換算差額等</b>	5,805	3.6%	<b>5,438</b>	3.0%	- 367
<b>純資産合計</b>	119,356	73.0%	<b>125,348</b>	69.8%	+ 5,991
<b>負債及び純資産合計</b>	163,453	100.0%	<b>179,650</b>	100.0%	+ 16,196

## <当期のポイント> (対前期末)

### ■ 流動資産：18,915百万円増

- ・ 現金及び預金の増加 ( + 1,171百万円)
- ・ 売掛金及び契約資産の減少 ( - 100百万円)
- ・ 有価証券の増加 ( + 1,393百万円)
- ・ 棚卸資産の増加 ( + 9,870百万円)
- ・ その他の増加 ( + 6,579百万円)

### ■ 固定資産：2,718百万円減

- ・ 有形固定資産の増加 ( + 120百万円)
- ・ 無形固定資産の減少 ( - 538百万円)
- ・ 投資その他の減少 ( - 2,300百万円)

### ■ 流動負債：10,110百万円減

- ・ 買掛金の増加 ( + 1,297百万円)
- ・ その他の減少 ( - 11,407百万円)

### ■ 固定負債：20,315百万円増

# 主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期 (予想)
売上高	89,674	92,010	97,526	105,157	115,918	111,100
(海外売上)	(793)	(834)	(112)	(386)	(8,860)	(200)
売上原価	44,922	48,736	52,479	56,581	59,667	—
(売上原価率)	(50.1%)	(53.0%)	(53.8%)	(53.8%)	(51.5%)	—
販売費及び一般管理費	41,190	40,413	40,415	41,682	43,348	—
(販管费率)	(45.9%)	(43.9%)	(41.4%)	(39.6%)	(37.4%)	—
うち研究開発費	8,719	7,695	9,233	7,088	9,520	9,300
(研究開発费率)	(9.7%)	(8.4%)	(9.5%)	(6.7%)	(8.2%)	(8.4%)
営業利益	3,561	2,859	4,631	6,893	12,902	6,300
(営業利益率)	(4.0%)	(3.1%)	(4.7%)	(6.6%)	(11.1%)	(5.7%)
経常利益	4,546	3,781	5,727	7,632	13,706	6,800
(経常利益率)	(5.1%)	(4.1%)	(5.9%)	(7.3%)	(11.8%)	(6.1%)
当期純利益	4,814	2,620	5,722	53,144	9,382	5,100
(当期純利益率)	(5.4%)	(2.8%)	(5.9%)	(50.5%)	(8.1%)	(4.6%)
一株当たり利益	64.82円	35.28円	77.06円	925.92円	163.29円	88.76円
資本金	4,317	4,317	4,317	700	700	—
総資産	156,628	159,980	164,761	163,453	179,650	—
株主資本	113,848	113,052	115,953	113,550	119,910	—
純資産	120,420	119,232	121,550	119,356	125,348	—
一株当たり純資産	1,621.43円	1,605.43円	1,636.65円	2,077.37円	2,181.64円	—
自己資本利益率	4.0%	2.2%	4.8%	57.7%	7.7%	—
自己資本比率	76.9%	74.5%	73.8%	73.0%	69.8%	—
人員	1,471人	1,441人	1,364人	1,353人	1,330人	—
設備投資	732	627	505	1,108	1,384	600
減価償却費	1,391	1,461	1,608	2,410	1,983	2,000

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値、2024年3月期以降は吸収合併後の当社の数値となっております。

※2025年3月期より会計方針の変更を行っており、2024年3月期に係る数値については遡及修正後の数値を記載しております。